

令和元年度

事務事業評価表 A（平成30年度の実績評価）

記入年月日  
平成 31 年 4 月 16 日

事務事業名		真壁運動場管理運営事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 020402000088	
総合計画の施策名		O204 生涯スポーツ活動の振興				単独		090501	
政策名		02 生きがいや育む学びのまちづくり				主要事業		所属課	
施策名		04 生涯スポーツ活動の振興				市長マニフェスト		スポーツ振興課	
手段名		02 ②快適な施設利用の推進				未来PJ事業		グループ	
		合併建設計画事業				合併建設計画事業		スポーツ振興G	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		一般会計				単年度繰返し（昭和51年度～）			
01 10 07 02 06 00		運動場管理事業（真）				← 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			
法令根拠 桜川市体育施設設置及び管理に関する条例									
【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）									

(1) 事務事業の概要										
手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	<p>桜川市真壁町源法寺43-1に所在する（29,847㎡）真壁運動場を管理運営する事業である。管理運営には真壁体育館の職員が従事しており、運動場には常駐していない。使用に当たっては、使用責任者へカギを貸出し施設をお願している。夜間は管理人に依頼している。</p> <p>利用にあたっては、桜川市体育施設設置及び管理に関する条例の施設使用料及び減免規則に照らし合わせ、利用内容に適した使用料をいただいている。主な利用内容は、ソフトボール・軟式野球・サッカー・グランドゴルフで、幅広い年齢層に利用されている。使用料1面野球600円ソフトボール300円 ナイター使用料3,000円市外2倍料金。</p>					<p>施設維持管理、委託契約、利用調整、使用許可申請書の受付、使用許可書の交付施設の維持管理</p>				

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段（担当者の活動内容）		④活動指標（活動量を表す指標）			単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)
施設維持管理、委託契約、利用調整、使用許可申請書の受付、使用許可書の交付施設の維持管理、運動場の貸出、利用団体の調整		運動場の貸出日数			日	250.00	308.00	308.00	309.00	310.00
		保守点検回数			回	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）		⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）			単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)
桜川市民		人口(常住人口)			人	41,278.00	40,483.00	40,027.00	39,571.00	39,115.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）		⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）			単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)
市民のスポーツ活動の促進・体づくり・健康づくりのため利用してもらう。		利用者延べ人数			人	21,343.00	21,452.00	21,500.00	21,500.00	21,500.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移					29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	期間限定 総投入量
投 入 量	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	293	290	324	0
			その他	千円	18	72	18	0
			一般財源	千円	7,128	6,046	6,088	0
			事業費計（A）	千円	7,439	6,408	6,430	0
		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

30年度事業費 実績（千円）				01年度事業費 予算（千円）			
07 賃金	212			07 賃金	304		
11 需用費	3,243			11 需用費	3,714		
12 役務費	36			12 役務費	40		
13 委託料	509			13 委託料	658		
14 使用料及び賃借料	1,594			14 使用料及び賃借料	1,674		
15 工事請負費	778			16 原材料費	40		
16 原材料費	36						
合 計				6,408	合 計		6,430

(4) 当該年度の実施内容		01年度の事業内容		02年度の事業内容		03年度の事業内容	
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する  ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業							

事務事業名	真壁運動場管理運営事業	事務事業No.	20402000088	所属課	スポーツ振興課
-------	-------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 真壁運動場の建設に伴い、昭和51年12月から施設の利用が開始された。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 利用者から備品の充実、利用時間の延長の要望がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	老朽化により修繕箇所が増えているので、利用者の安全の確保のため、優先順位をつけた修繕計画をたて修繕をしていく。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 運動場の維持管理、貸出で市民が運動場を利用してスポーツを楽しむことによって、結果の「市民がスポーツを安心して行える環境の確保」「スポーツを楽しむ機会の増加」に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内にある施設を利用できることは利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくり、健康の増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 老朽化により修繕箇所が増えているので、優先順位をつけた修繕計画をたて、修繕していく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 施設の経年劣化による修繕費や保守点検委託料などの維持管理費に関して削減は困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の原則に基づき、使用料を徴収しているため、公平性が確保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・市民が安心してスポーツを実践できる施設管理を行うことで、楽しみながら健康づくりを図ることができる。 ・老朽化により修繕箇所が増えているので、優先順位をつけた修繕計画をたて、修繕していく必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 ・老朽化により修繕箇所が増えているので、優先順位をつけた修繕計画をたて、修繕をしていく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持		○			低下				
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持		○																								
低下																										
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	④																							
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>